

令和6年度 熱田区 区民アンケート

アンケート結果

令和7年1月

熱田区役所

調査の概要

1. 調査の目的

区政運営方針に対する区民の意見や取り組みへの評価等を把握するとともに、昨年度実施した調査との比較を行い、区将来ビジョンの成果指標の現状値計測を含め、今後の区政運営のための基礎資料とする。

2. 調査の地域

名古屋市熱田区の全域

3. 調査の対象

区内居住の18歳以上の男女1,200人

4. 調査対象抽出方法

無作為抽出法

5. 調査方法

通達員配布後 郵送またはオンラインにて回収

6. 調査期間

令和6年 7月23日～ 8月13日

7. 回答者数

496人（回答率41.3%）

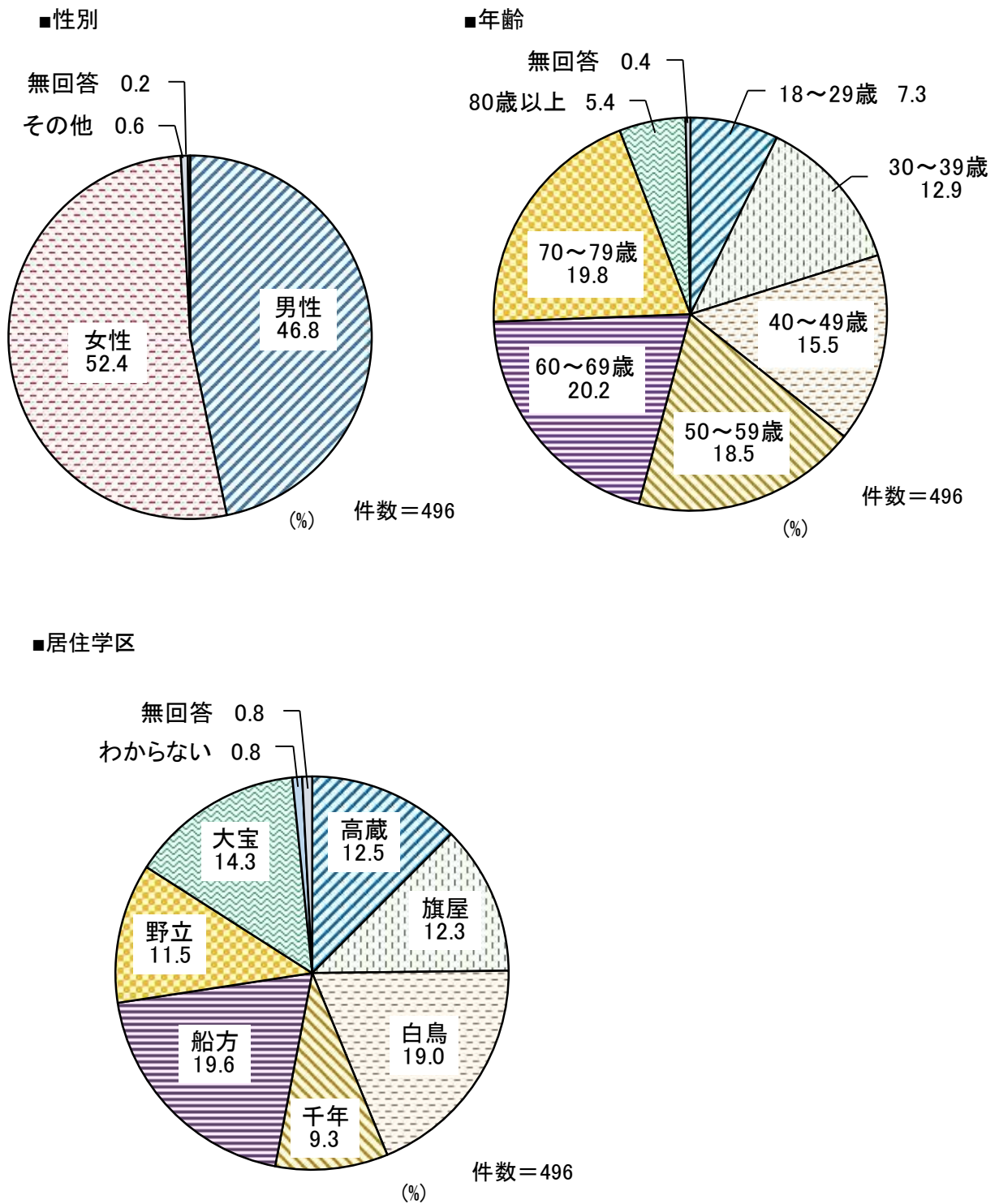
【内訳】

郵送での回答	302人（60.9%）
オンラインでの回答	194人（39.1%）

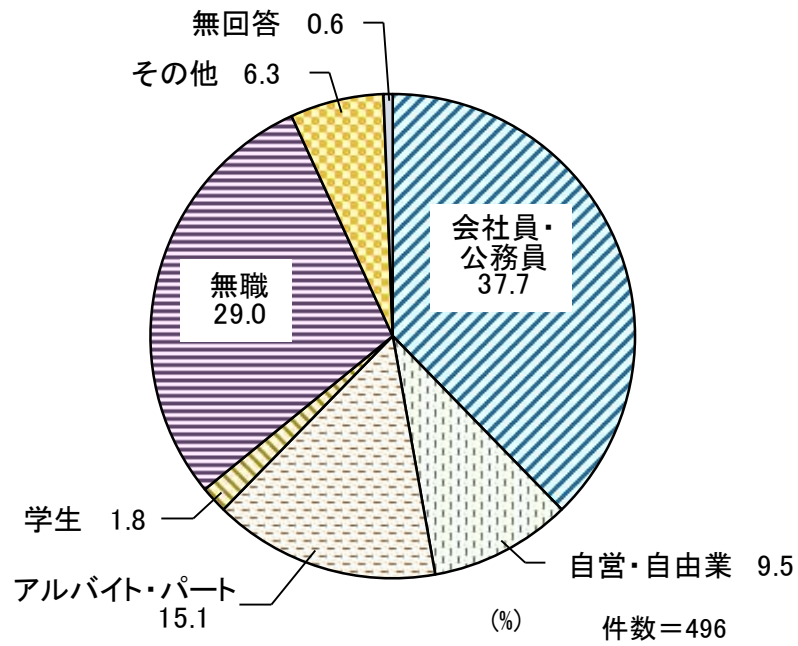
調査の結果

1 あなたご自身のことについて

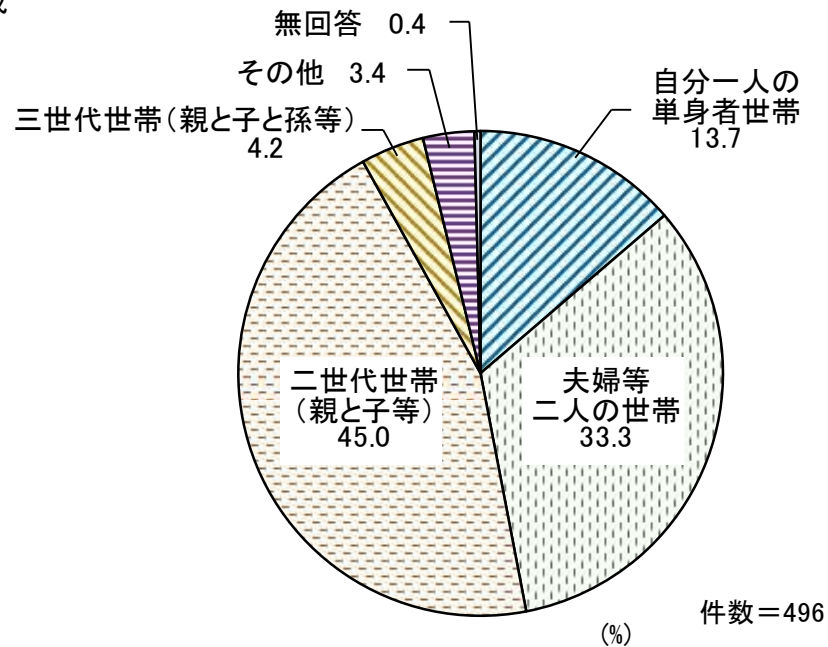
1-1 対象者の属性



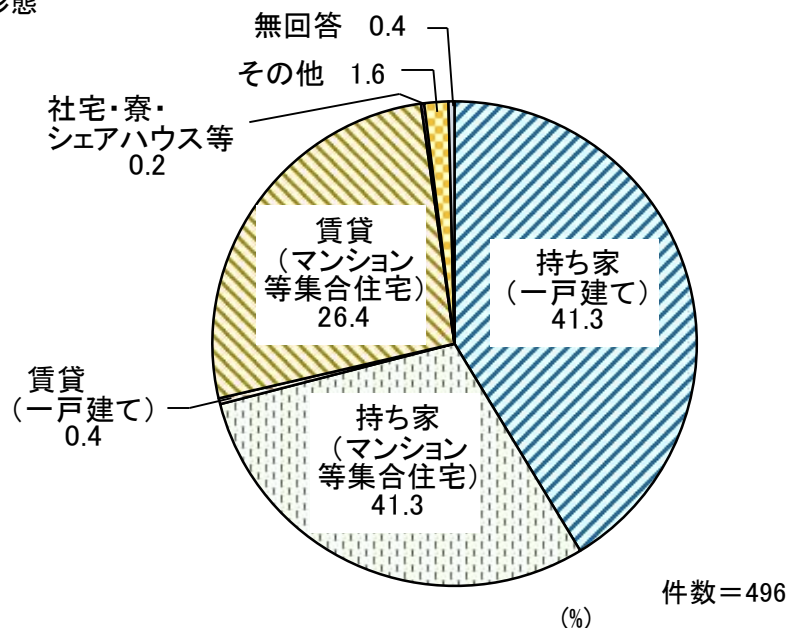
■職業



■家族構成



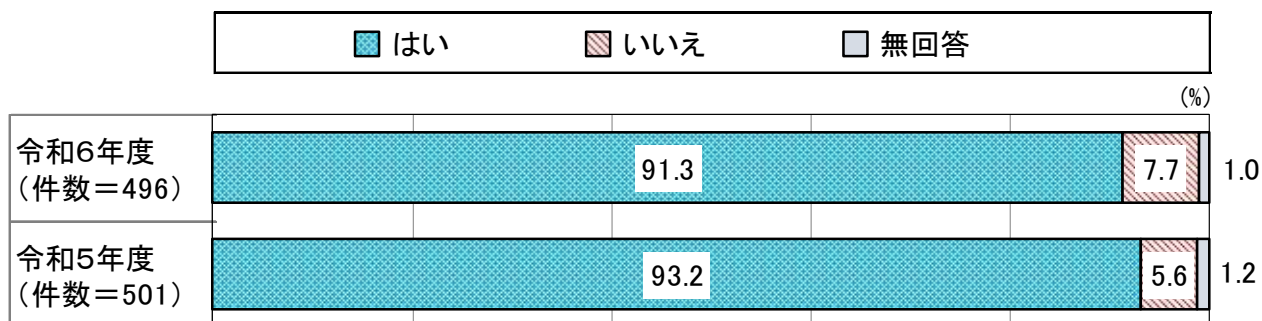
■居住形態



1-2 居住継続意向の有無

- これからも熱田区に住みつづけたいと思うかについては、「はい」の割合は 91.3%で、9 割以上が住みつづけたいと回答している。一方、「いいえ」の割合は 7.7%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、「はい」の割合は、依然として高いものの、若干減少している。

問7. これからも熱田区に住みつづけたいと思いますか。

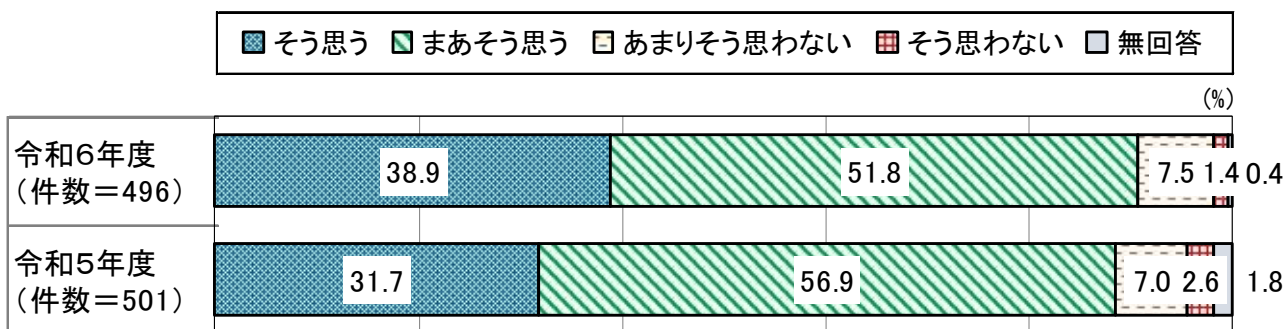


2.「熱田区」について

2-1 「安心・安全で快適なまち」かについて

- 「安心・安全で快適なまち」だと思うかについては、「まあそう思う」の割合が 51.8%と最も高く、「そう思う」の 38.9%と合わせて 90.7%と 9 割が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(7.5%)と「そう思わない」(1.4%)を合わせた否定的な評価をする割合は 8.9%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加している。

問 8.「安心・安全で快適なまち」だと思いますか。

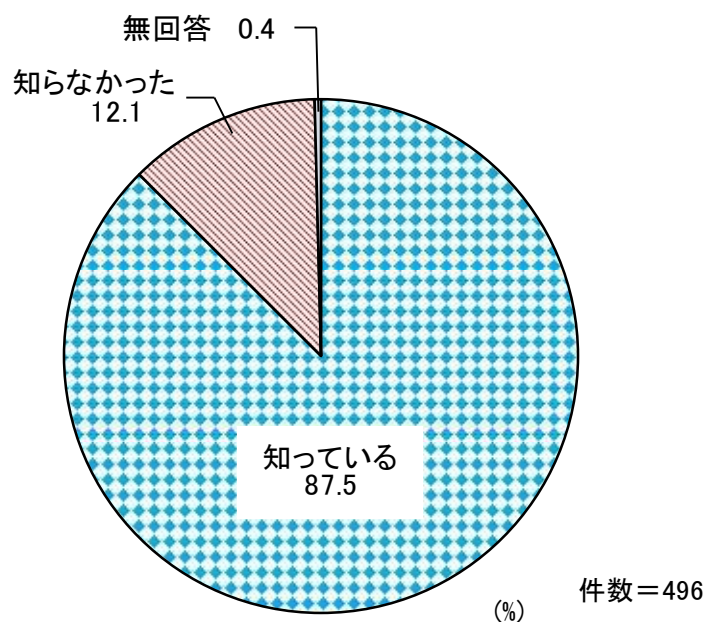


2-2 自転車に乗る時のヘルメット着用について

(1) 着用努力義務の条例の認知

- 名古屋市では、全世代を対象として、自転車に乗る時のヘルメット着用が条例で努力義務とされたことについては、「知っている」が87.5%と9割近くみられ、「知らなかった」は12.1%となっている。

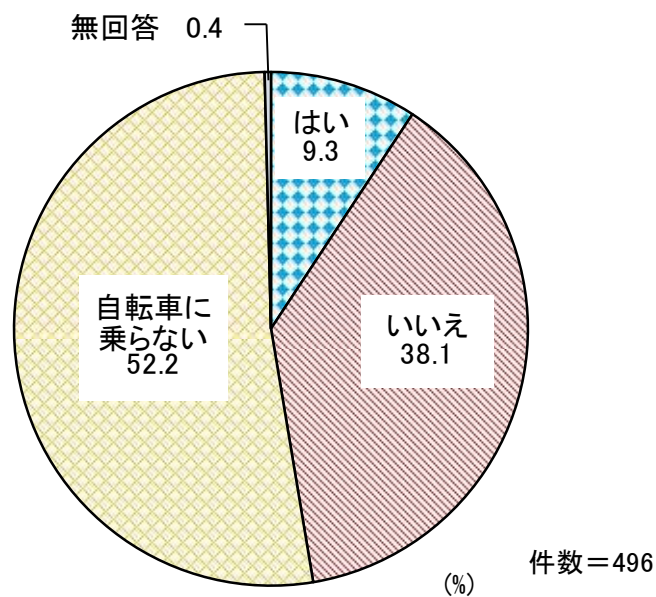
問9. 名古屋市では、令和3年から全世代を対象として、自転車に乗る時のヘルメット着用が条例で努力義務とされています。このことを知っていますか。



(2) ヘルメット着用の有無

- 実際に自転車に乗るときにヘルメットを着用しているかについては、「はい」が 9.3%と 1 割で、「いいえ」は 38.1%となっている。また、「自転車に乗らない」が 52.2%と過半数を占めている。

問 10. 実際に自転車に乗るときにヘルメットを着用していますか。

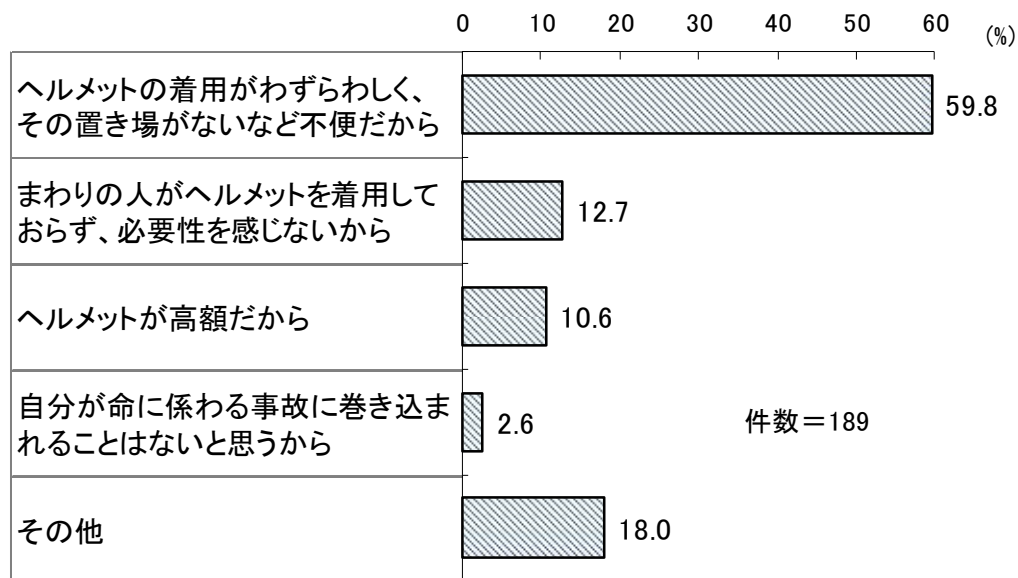


(3) ヘルメットを着用しない理由

- 実際に自転車に乗るときにヘルメットを着用していない方（189 名）が、ヘルメットを着用しない理由として、もっとも近いものとしては、「ヘルメットの着用がわずらわしく、その置き場がないなど不便だから」が 59.8%と最も多く、6 割があげている。次いで、「まわりの人がヘルメットを着用しておらず、必要性を感じないから」（12.7%）、「ヘルメットが高額だから」（10.6%）が、それぞれ 1 割以上で、「自分が命に係わる事故に巻き込まれることはないと思うから」（2.6%）は僅かとなっている。

問 11.（問 10 で「2」を選んだ方にお聞きします。）

自転車に乗るときにヘルメットを着用しない理由として、もっとも近いものは何ですか。

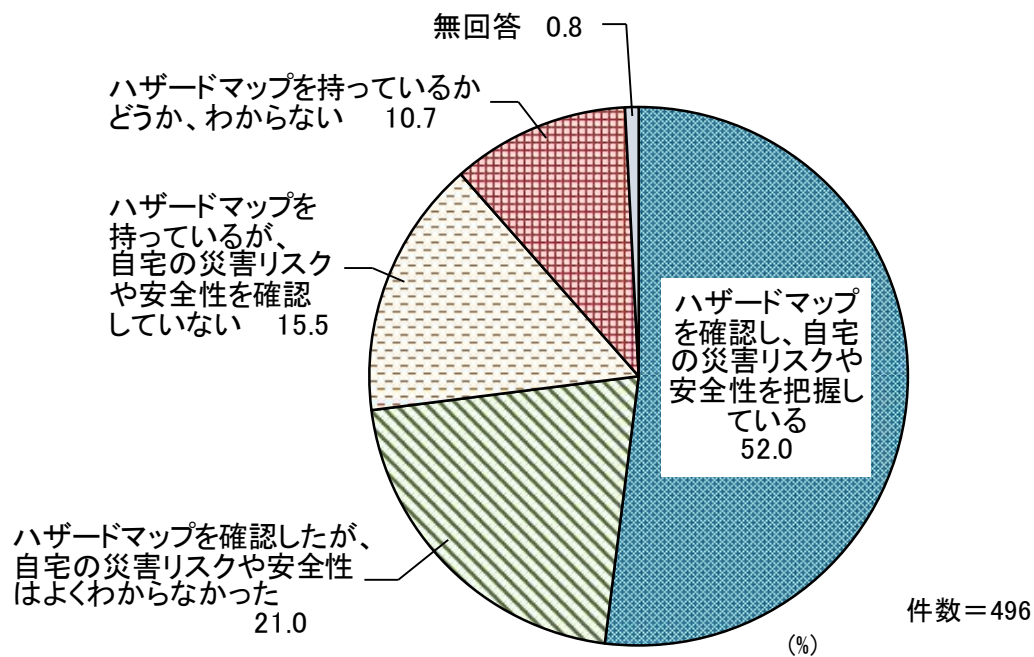


2-3 災害について

(1) ハザードマップについて

○ 名古屋市では、想定しうる最大規模の地震や台風、大雨による被害を想定したハザードマップを作成し、各家庭へ配付したほか、市公式ウェブサイト等でも公表しているが、その内容を確認し、自宅の災害リスクや安全性を把握しているかについては、「ハザードマップを確認し、自宅の災害リスクや安全性を把握している」が 52.0%と最も高く、過半数を占めている。「ハザードマップを確認したが、自宅の災害リスクや安全性はよくわからなかった」は21.0%であり、合わせて 73.0%と 7 割以上がハザードマップを確認している。また、「ハザードマップを持っているが、自宅の災害リスクや安全性を確認していない」は 15.5%であり、合わせて 88.5%と約 9 割がハザードマップを確認または所持している。一方、「ハザードマップを持っているかどうか、わからない」は10.7%となっている。

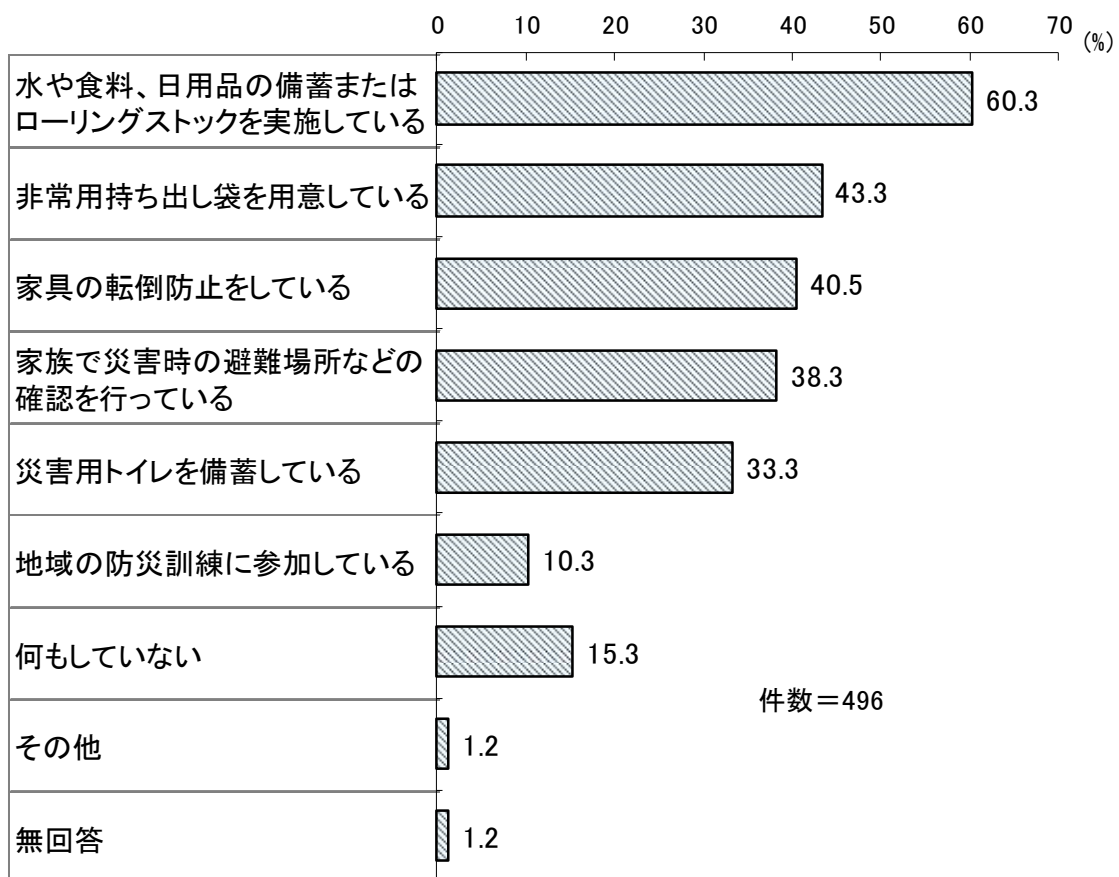
問 12. 名古屋市では令和4年度に、想定しうる最大規模の地震や台風、大雨による被害を想定したハザードマップを作成し、各家庭へ配付したほか、市公式ウェブサイト等でも公表していますが、その内容を確認し、自宅の災害リスクや安全性を把握していますか。



(2) 災害に対しての準備

○ 災害に対して行っている準備としては、「水や食料、日用品の備蓄またはローリングストックを実施している」が 60.3%と最も高く、6 割が準備している。以下、「非常用持ち出し袋を用意している」(43.3%)、「家具の転倒防止をしている」(40.5%)、「家族で災害時の避難場所などの確認を行っている」(38.3%)、「災害用トイレを備蓄している」(33.3%) が、それぞれ 3~4 割で続いており、「地域の防災訓練に参加している」(10.3%) は 1 割となっている。一方、「何もしていない」は 15.3%となっている。

問 13. あなたは災害に対してどのような準備をしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

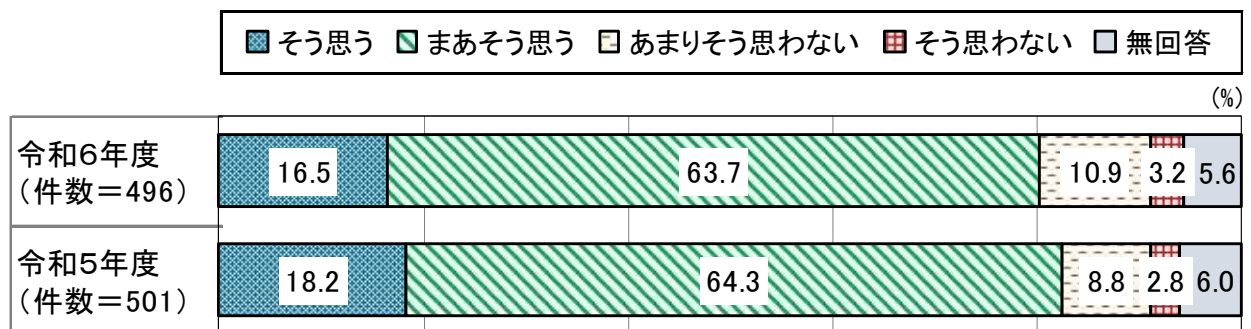


2-4 子育てについて

(1)「子育てがしやすいまち」かについて

- 「子育てがしやすいまち」だと思うかについては、「まあそう思う」が 63.7%と最も高く、「そう思う」の 16.5%と合わせて 80.2%と 8 割が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(10.9%)、「そう思わない」(3.2%) 合わせて否定的な評価の割合は 14.1%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、肯定的な評価の割合は、依然として高いものの、若干減少している。

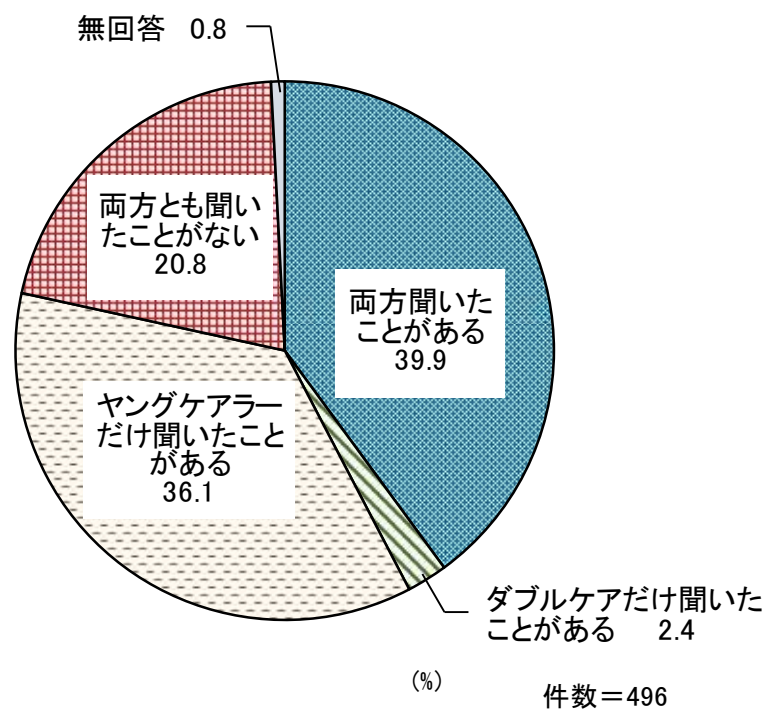
問 14. 「子育てがしやすいまち」だと思いますか。



(2) ダブルケア、ヤングケアラーの認知

○ ダブルケア、ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるかについては、「両方聞いたことがある」が 39.9%と最も高い。「ヤングケアラーだけ聞いたことがある」は 36.1%なので、合わせて 76.0%がヤングケアラーという言葉を知っている。また、「ダブルケアだけ聞いたことがある」は 2.4%なので、合わせて 42.3%がダブルケアという言葉を知っている。一方、「両方とも聞いたことがない」は 20.8%で 2 割となっている。

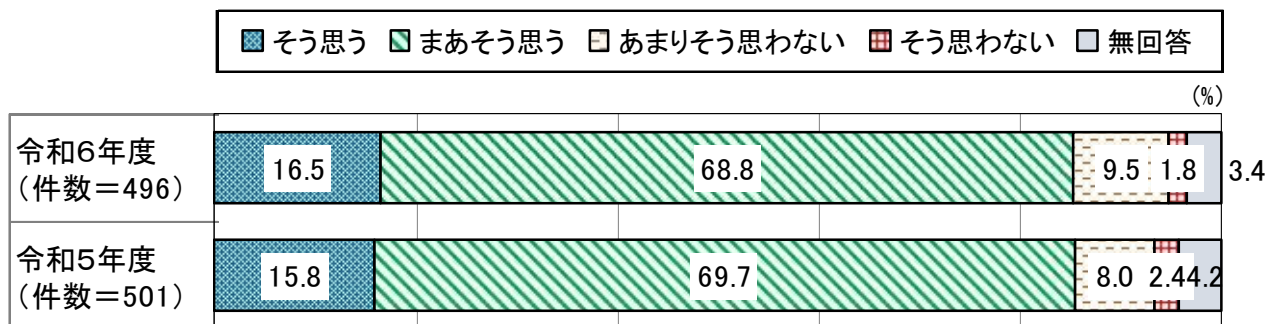
問 15. ダブルケア、ヤングケアラーという言葉を知ったことがありますか。



(3)「子どもや若者が安心して健やかに成長できるまち」かについて

- 「子どもや若者が安心して健やかに成長できるまち」だと思うかについては、「まあそう思う」が68.8%と最も高く、「そう思う」の16.5%と合わせて85.3%と8割以上が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(9.5%)、「そう思わない」(1.8%)合わせて否定的な評価の割合は11.3%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、肯定的な評価の割合は、依然として高く、ほとんど差異はみられない。

問 16. 「子どもや若者が安心して健やかに成長できるまち」だと思いますか。

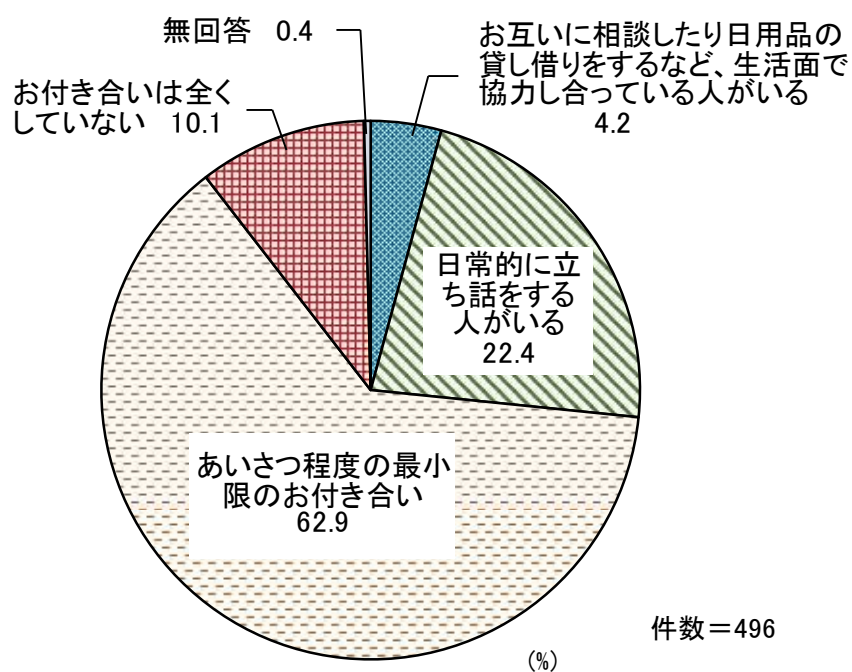


2-5 人との付き合いについて

(1) ご近所付き合いの有無

○ 近所の人とどのようなお付き合いをしているかについては、「あいさつ程度の最小限のお付き合い」の割合が62.9%と最も高くなっている。次いで「日常的に立ち話をする人がいる」の割合は22.4%となっており、「お互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力し合っている人がいる」の割合は4.2%と少なく、合わせて日常的なお付き合いがある割合は26.6%となっている。一方、「お付き合いは全くしていない」の割合は10.1%と1割となっている。

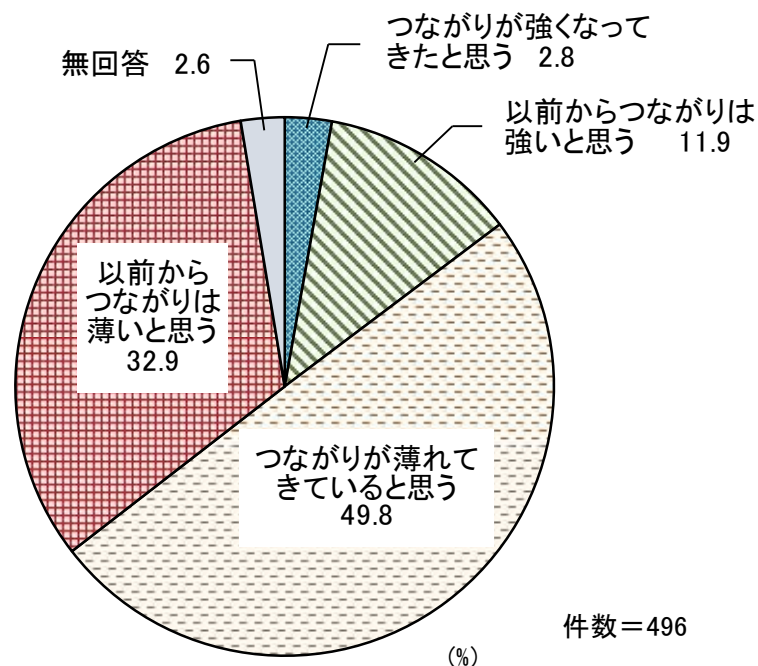
問17. 近所の人とどのようなお付き合いをしていますか。



(2) 地域の「人と人のつながり」について

○ 住んでいる地域の「人と人のつながり」はどのような状態だと思うかについては、「つながりが薄れてきていると思う」が49.8%と最も高く、「以前からつながりは薄いと思う」は32.9%である。一方、「以前からつながりは強いと思う」は11.9%で、「つながりが強くなってきたと思う」は2.8%となっている。

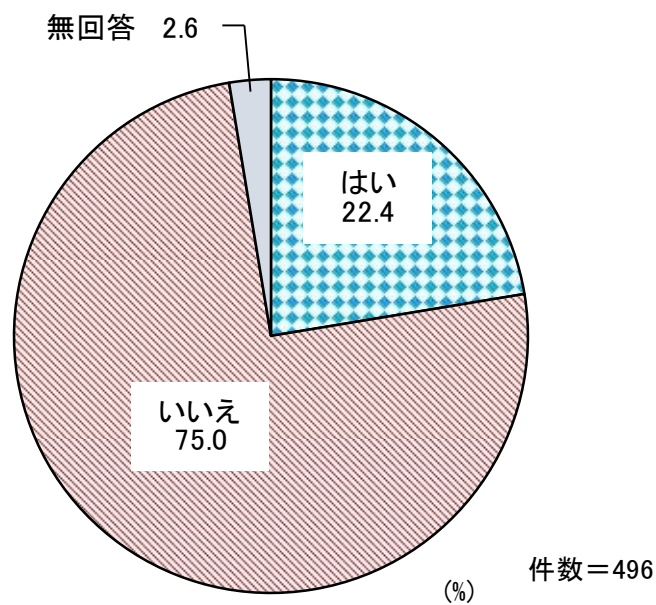
問18. あなたが住んでいる地域の「人と人のつながり」はどのような状態だと思いますか。



(3) 近所の高齢者に対する声かけの有無

- 近所の高齢者に対して、「元気がない」「様子がちがう」「郵便物や新聞がたまっている」「姿を見かけない」など様子を気かけたり、声をかけたりしているかについては、「はい」が 22.4% であり、「いいえ」は 75.0% と 7 割以上を占めている。

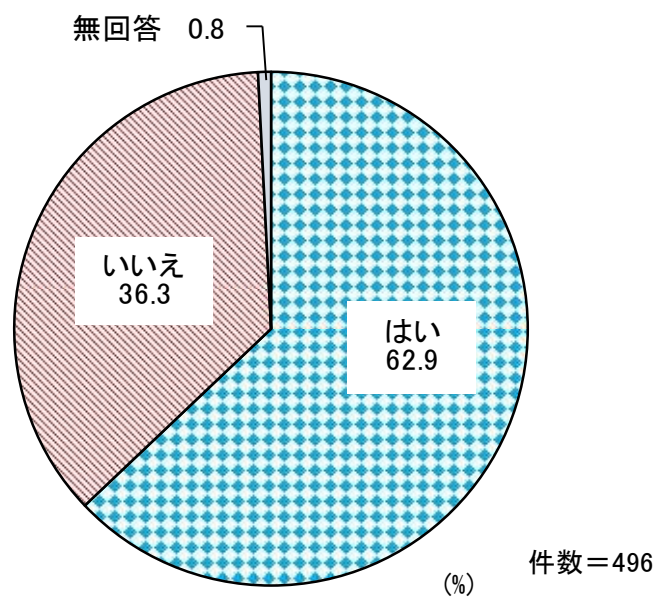
問 19. 近所の高齢者に対して、「元気がない」「様子がちがう」「郵便物や新聞がたまっている」「姿を見かけない」など様子を気かけたり、声をかけたりしていますか。



(4) 家族以外で相談できる人の有無

- 悩みや心配事などの気になっていることを、家族以外で相談できる人はいるかについては、「はい」が62.9%と6割以上を占め、「いいえ」は36.3%となっている。

問 20. 悩みや心配事などの気になっていることを、家族以外で相談できる人はいますか。

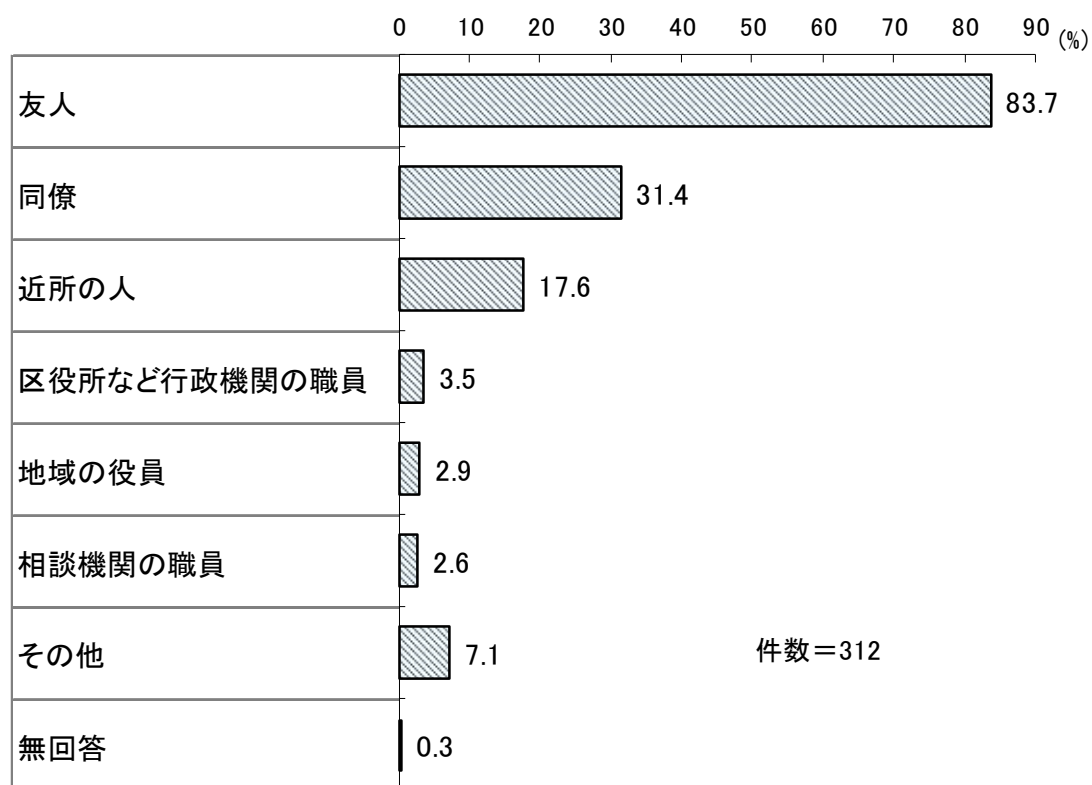


（５）相談できる人について

○ 家族以外で相談できる人がいる方（312 名）では、相談できる人は誰ですかとしては、「友人」が83.7%と圧倒的に多く、次いで「同僚」（31.4%）、「近所の人」（17.6%）と続いている。「区役所など行政機関の職員」（3.5%）、「地域の役員」（2.9%）、「相談機関の職員」（2.6%）は、それぞれ僅かとなっている。

問 21. （問 20 で「１」を選んだ方にお聞きします。）

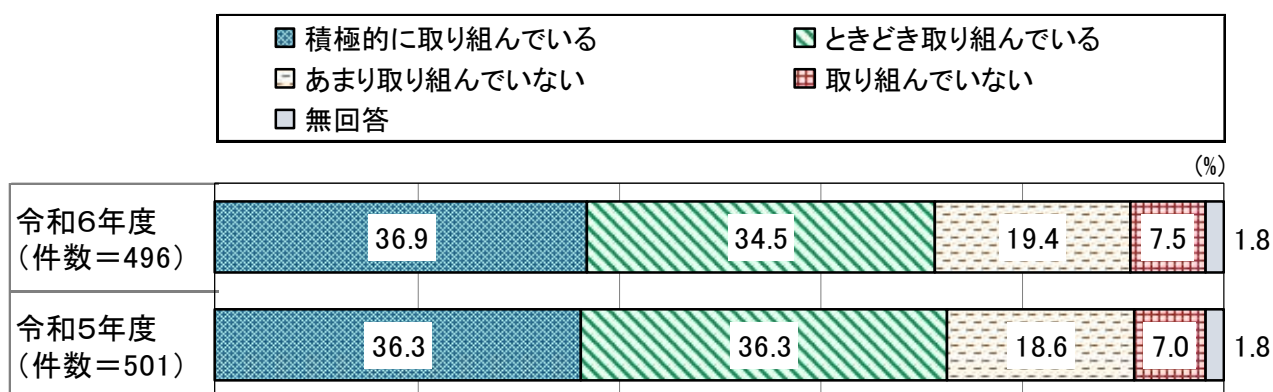
家族以外の相談できる人は誰ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



2-6. 健康づくりに取り組みの有無

- 朝食を毎日食べる、睡眠を十分にする、週に1回以上ウォーキング・ストレッチ・運動・スポーツを実施しているなど健康づくりに取り組んでいますかについては、「積極的に取り組んでいる」が36.9%、「ときどき取り組んでいる」が34.5%と高く、合わせて71.4%と7割以上が健康づくりに取り組んでいる。一方、「あまり取り組んでいない」(19.4%)、「取り組んでいない」(7.5%) 合わせて健康づくりに取り組んでいない割合は26.9%となっている。
- 昨年度調査と比較しても、ほとんど差異はみられない。

問22. 健康づくりに取り組んでいますか（朝食を毎日食べる、睡眠を十分にする、週に1回以上ウォーキング・ストレッチ・運動・スポーツを実施しているなど）。

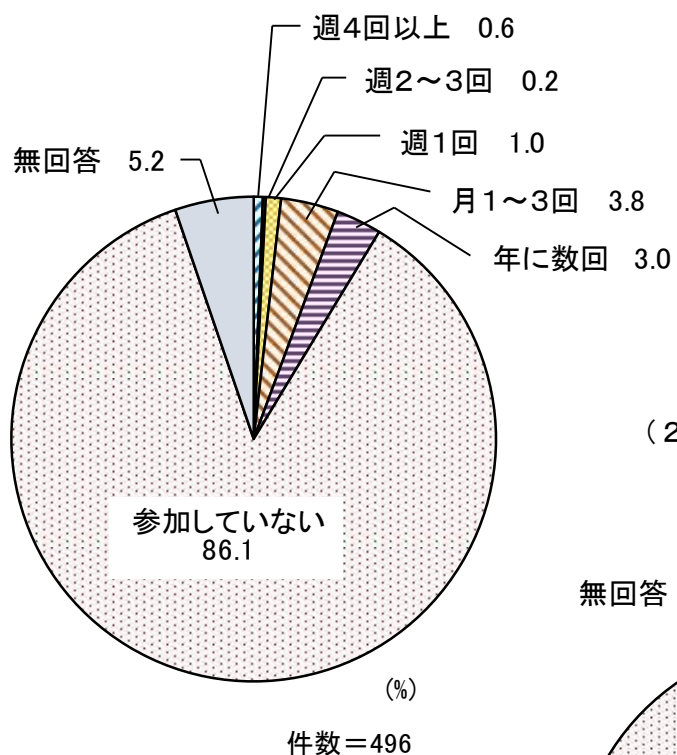


2-7. 団体やチーム、同好会、クラブなどの活動への参加状況

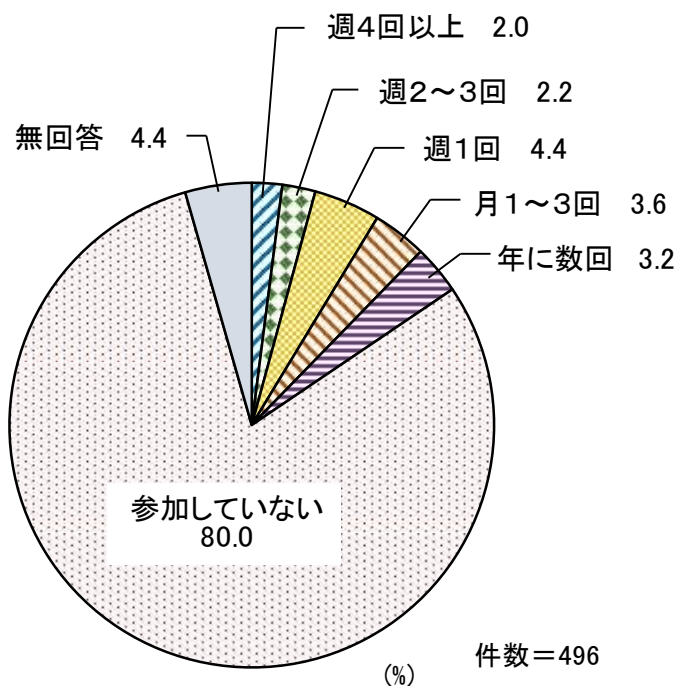
- 団体やチーム、同好会、クラブなどの活動に、どのくらいの頻度で参加しているかで、ボランティアの会・グループについては、「月1～3回」(3.8%)、「年に数回」(3.0%)、「週1回」(1.0%)、「週4回以上」(0.6%)、「週2～3回」(0.2%) 合わせて8.6%と参加している割合は1割程である。一方、「参加していない」の割合は86.1%と9割近くを占めている。
- スポーツの会・グループについては、「週1回」(4.4%)、「月1～3回」(3.6%)、「年に数回」(3.2%)、「週2～3回」(2.2%)、「週4回以上」(2.0%) 合わせて参加している割合は15.4%となっている。一方、「参加していない」の割合は80.0%で8割を占めている。

問23. 下記1～8にあげる団体やチーム、同好会、クラブなどの活動に、どのくらいの頻度で参加していますか。(設問1～8すべてにご回答ください。)

(1) ボランティアの会・グループ



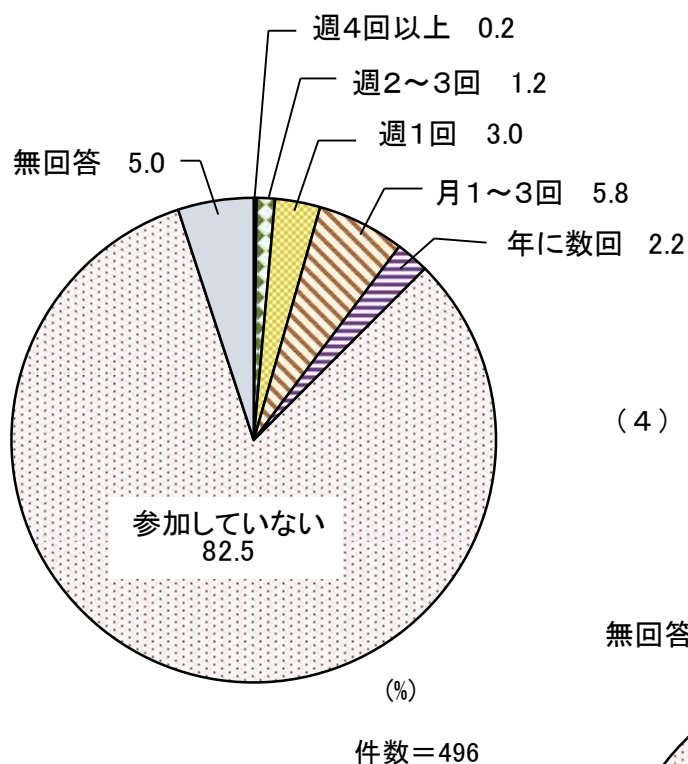
(2) スポーツの会・グループ



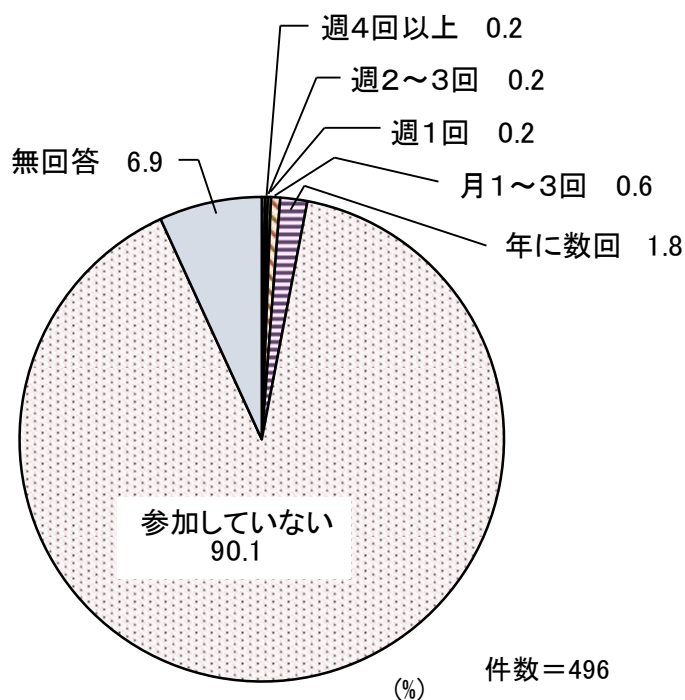
- 趣味の会・グループについては、「月 1～3 回」(5.8%)、「週 1 回」(3.0%)、「年に数回」(2.2%)、「週 2～3 回」(1.2%)、「週 4 回以上」(0.2%) 合わせて参加している割合は 12.4% と 1 割以上となっている。一方、「参加していない」の割合は 82.5% と 8 割以上を占めている。
- 老人クラブについては、「年に数回」(1.8%)、「月 1～3 回」(0.6%)、「週 4 回以上」(0.2%)、「週 2～3 回」(0.2%)、「週 1 回」(0.2%) 合わせて 3.0% と参加している割合は僅かとなっている。一方、「参加していない」の割合は 90.1% で 9 割を占めている。

問 23. 下記 1～8 にあげる団体やチーム、同好会、クラブなどの活動に、どのくらいの頻度で参加していますか。

(3) 趣味の会・グループ



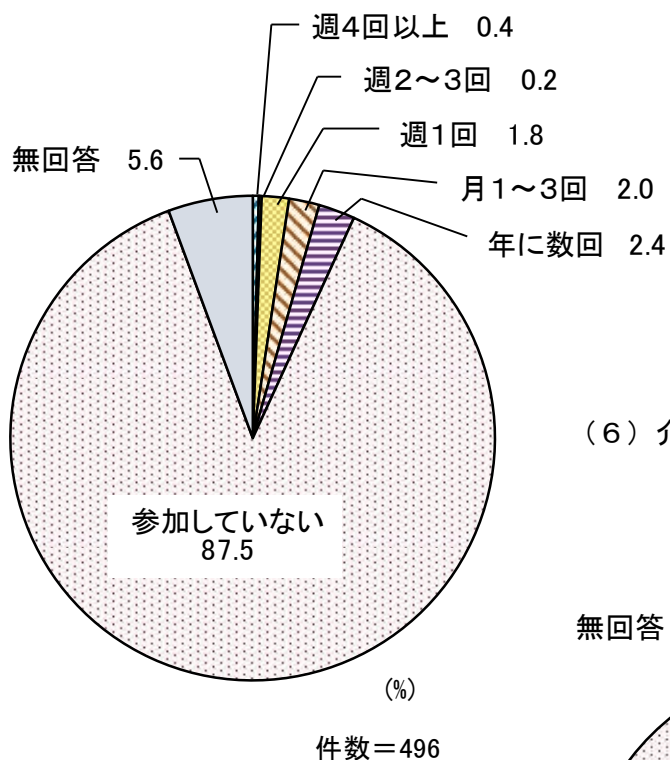
(4) 老人クラブ



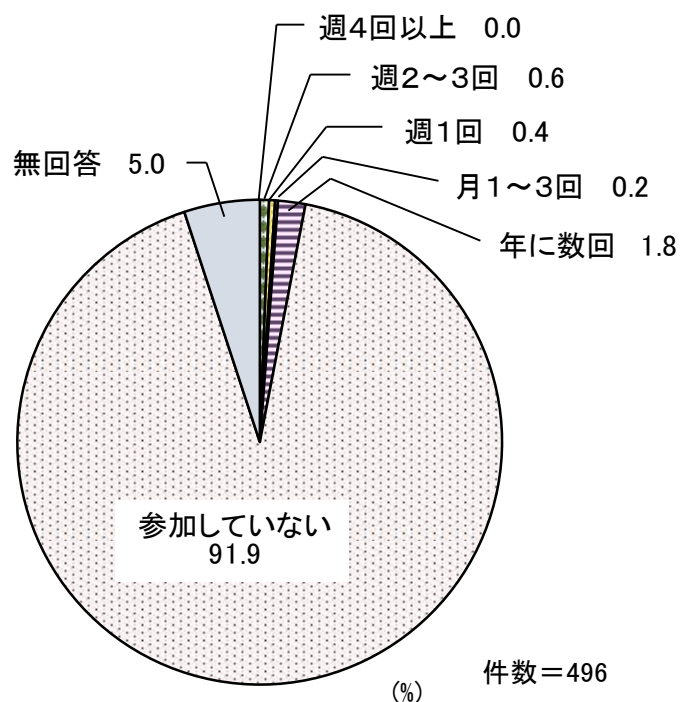
- 学習・教養の会・グループについては、「年に数回」(2.4%)、「月1～3回」(2.0%)、「週1回」(1.8%)、「週4回以上」(0.4%)、「週2～3回」(0.2%) 合わせて 6.8%と参加している割合は 1 割未満となっている。一方、「参加していない」の割合は 87.5%と 9 割近くを占めている。
- 介護予防・健康づくりの会・グループについては、「年に数回」(1.8%)、「週2～3回」(0.6%)、「週1回」(0.4%)、「月1～3回」(0.2%) と合わせて3.0%で「週4回以上」は皆無であり、参加している割合は僅かとなっている。一方、「参加していない」の割合は 91.9%と 9 割以上を占めている。

問23. 下記1～8にあげる団体やチーム、同好会、クラブなどの活動に、どのくらいの頻度で参加していますか。

(5) 学習・教養の会・グループ



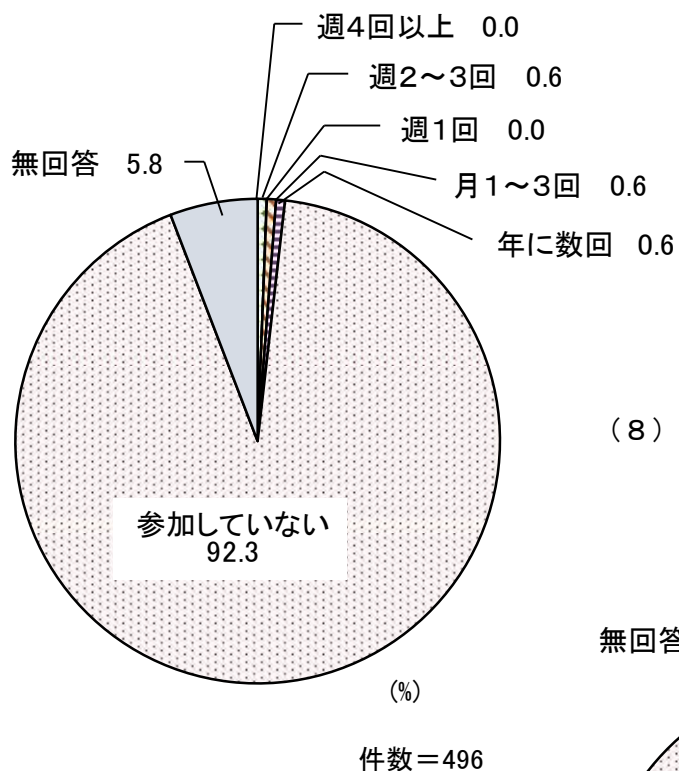
(6) 介護予防・健康づくりの会・グループ



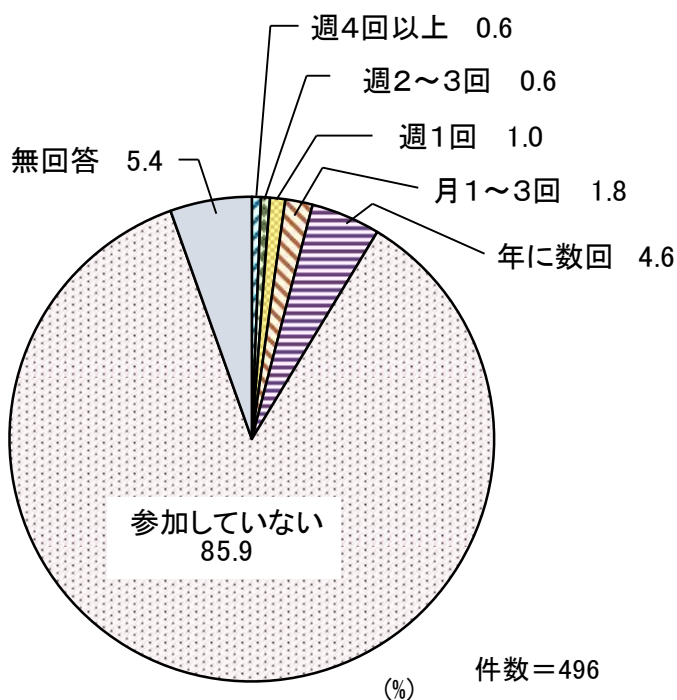
- 高齢者サロンについては、「週 2～3 回」(0.6%)、「月 1～3 回」(0.6%)、「年に数回」(0.6%) 合わせて 1.8%で「週 4 回以上」、「週 1 回」はともに皆無であり、参加している割合はごく僅かとなっている。一方、「参加していない」の割合は 92.3%と 9 割以上を占めている。
- その他の会・グループについては「年に数回」(4.6%)、「月 1～3 回」(1.8%)、「週 1 回」(1.0%)、「週 4 回以上」(0.6%)、「週 2～3 回」(0.6%) と合わせて 8.6%と参加している割合は 1 割程となっている。一方、「参加していない」の割合は 85.9%と 9 割近くを占めている。

問 23. 下記 1～8 にあげる団体やチーム、同好会、クラブなどの活動に、どのくらいの頻度で参加していますか。

(7) 高齢者サロン



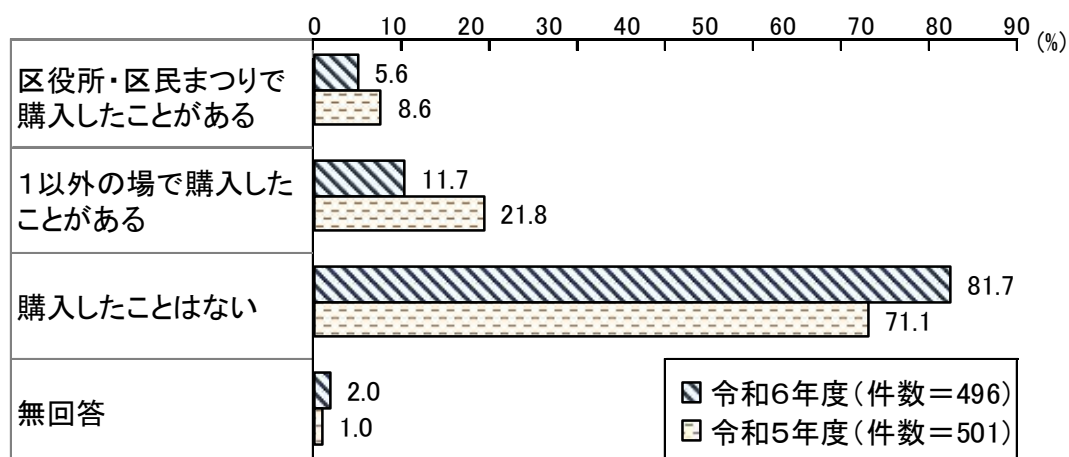
(8) その他の会・グループ



2－8．授産製品の購入経験

- 障害のある方が製作した授産製品を購入したことがあるかについては、「区役所・区民まつり以外の場で購入したことがある」が 11.7%、「区役所・区民まつりで購入したことがある」は 5.6% である。一方、「購入したことはない」は 81.7%と 8 割以上を占めている。
- 昨年度調査と比較すると、購入したことがある割合は、ともに減少しており、「購入したことはない」の割合が昨年度より 10 ポイント以上増えている。

問 24. 区役所庁舎内（毎月第 2・4 金曜日）や区民まつりなどで障害のある方が製作した授産製品を販売しています。授産製品を購入したことがありますか。

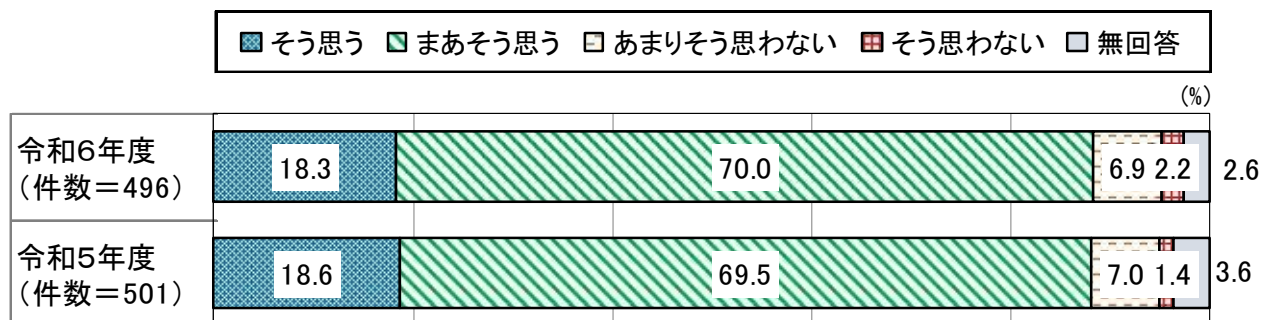


2－9．熱田区の魅力について

(1)「魅力的なまち」かについて

- 熱田区は「魅力的なまち」だと思うかについては、「まあそう思う」が 70.0%と最も高く、「そう思う」の 18.3%と合わせて 88.3%が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(6.9%)、「そう思わない」(2.2%) 合わせて否定的評価の割合は 9.1%となっている。
- 昨年度調査と比較しても、ほとんど差異はみられない。

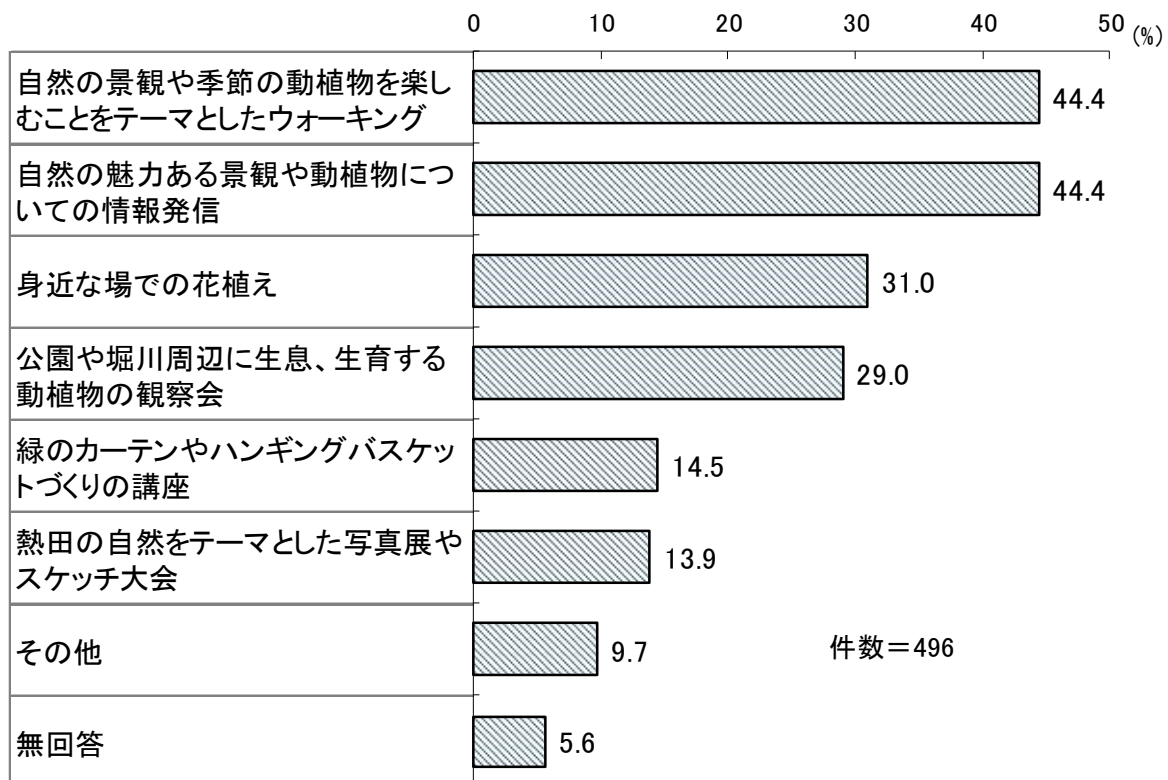
問 25. 熱田区は「魅力的なまち」だと思いますか。



(2) 熱田区の魅力向上のための取組

- 熱田区にある自然を活かして、まちの魅力の向上を図るためには、どのような取組があると良いと思うかについては、「自然の景観や季節の動植物を楽しむことをテーマとしたウォーキング」と「自然の魅力ある景観や動植物についての情報発信」の割合が、ともに 44.4%と最も多く、次いで、「身近な場での花植え」(31.0%)、「公園や堀川周辺に生息、生育する動植物の観察会」(29.0%) が 3 割程となっている。以下、「緑のカーテンやハンギングバスケットづくりの講座」(14.5%)、「熱田の自然をテーマとした写真展やスケッチ大会」(13.9%) が 1 割台で続いている。

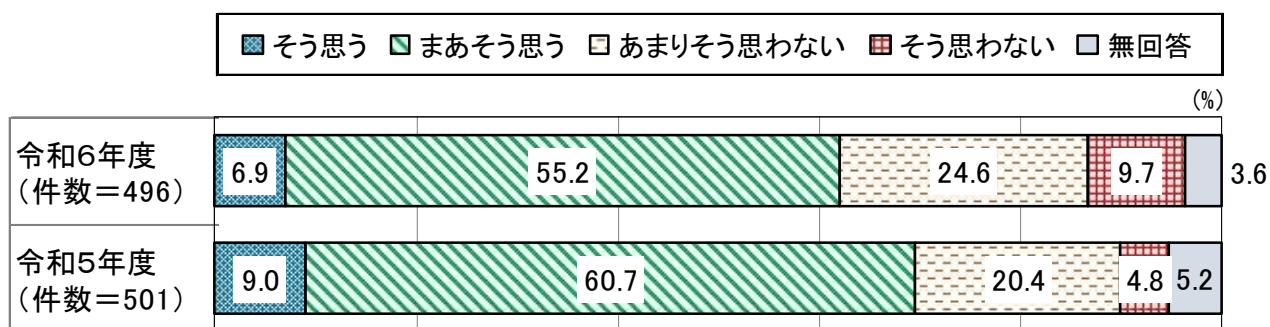
問 26. 熱田区には公園や庭園、社寺林、古墳などがあり、区の中央を堀川が流れています。こうした自然を活かして、まちの魅力の向上を図るためには、どのような取組があると良いと思いますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。



2-10. 地域活動について

- 地域の住民による地域活動が活発に行われていると思うかについては、「まあそう思う」が55.2%と最も高く、「そう思う」の6.9%と合わせて62.1%と6割以上が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」は24.6%であり、「そう思わない」(9.7%)と合わせて否定的な評価の割合は34.3%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、肯定的な評価の割合が減少し、否定的な評価の割合が増加しており、評価は低下している。

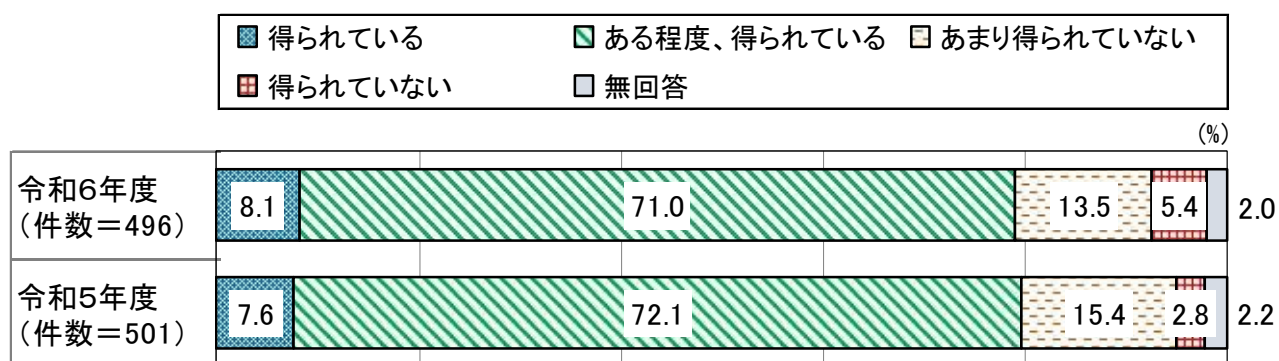
問 27. 地域の住民による地域活動が活発に行われていると思いますか。



2-11 行政サービスの情報は十分かについて

- 区役所が提供する行政サービスについて、知りたい情報が十分に得られているかについては、「ある程度、得られている」が 71.0%と最も高く、「得られている」の 8.1%と合わせて 79.1%と肯定的な評価の割合は 8 割となっている。一方、「あまり得られていない」(13.5%)、「得られていない」(5.4%) 合わせて否定的な評価の割合は 18.9%となっている。
- 昨年度調査と比較しても、あまり差異はみられない。

問 28. 区役所が提供する行政サービスについて、知りたい情報が十分に得られていますか。



3. ご意見・ご要望等（自由記入）

問 29. 熱田区をさらに魅力あふれるまちにするために取り組むとよいことがありましたら、ご自由にお書きください。

熱田区に対するご意見を自由に記入していただいたところ、144件のご意見をいただきました。

18歳から29歳まで	4件
30歳から39歳まで	19件
40歳から49歳まで	27件
50歳から59歳まで	35件
60歳から69歳まで	33件
70歳から79歳まで	22件
80歳以上	3件
その他（年齢不詳）	1件

いただいたご意見は、熱田区役所ウェブサイトにて掲載しています。

【ウェブサイトアドレス】 <https://www.city.nagoya.jp/atsuta/>

お問い合わせ先:熱田区役所企画経理課

〒456-8501 名古屋市熱田区神宮三丁目1番15号

TEL: (052)683-9688

FAX: (052)682-1496

E-mail: a6839686@atsuta.city.nagoya.lg.jp